

## 第2回 片瀬地区新コミュニティ施設検討会議 議事要旨

開催日時：2019年（平成31年）1月28日（月） 19時～20時15分

開催場所：片瀬市民センター 第一談話室

出席者：【検討委員】

鈴木氏，川久保氏，森田氏，荻野氏，正田氏，澁谷氏，  
和田氏，池田氏，坂爪氏，宇田川氏，鶴岡氏，三觜氏

欠席者：甘粕氏，神保氏，涛崎氏，畠山氏，笹岡氏

出席者：【事務局】

市民自治推進課 藤岡主幹，近藤課長補佐，青木課長補佐，石田  
片瀬市民センター 村山センター長，松野主幹

配布資料：「第2回片瀬地区新コミュニティ検討会議次第」，「第1回片瀬地区新  
コミュニティ検討会議議事要旨（案）」

議事：

### 1 前回議事の確認

- ・前回会議の議事要旨が承認された。
- ・2月1日（金）までを目途に事務局が市ホームページに議事要旨を掲載することを確認した。

### 2 委員長及び補佐の選任

- ・委員長に三觜氏、補佐に澁谷氏と正田氏が選任された。
- ・議事進行は事務局が会議の進行表を作成したうえで委員長が行う。
- ・書記は当日出席者の中から都度2名を選任するものと決定した。
- ・議事要旨については、書記が会議後一週間を目途に片瀬市民センターに提出する。
- ・事務局は議事要旨（案）を清書し、次回会議の開催通知と同時に各委員に送付する。
- ・議事要旨（案）は、次回会議時に承認を受けるものとする。

### 3 次回日程について

2019年（平成31年）3月25日（月）19時～

片瀬市民センター 第一談話室

### 4 その他

#### （1）質疑応答

- ・現在の市民の家と建設予定地とコミュニティハウス片瀬山の位置関係が知り

たい。(A委員)

→市民の家と建設予定地は現地視察も可である。(事務局)

→土日であれば行きたい。(B委員)

→コミュニティハウスは平日しかやっていない。(C委員)

→まずは、市民の家や近隣類似施設の位置関係等がわかる紙ベースの資料を次回までに用意するというのはどうか。(事務局)

・コミュニティハウスを含め、実際に管理運営している人たちから施設の課題や問題点などの話を聞きたい。また、それぞれの運営などソフト面がわかる資料も欲しい。(D委員)

→市民の家については、澁谷委員に直接聞けば、詳しく説明していただけるし、資料も提供できるが、コミュニティハウスについては、市で判断ができない。(事務局)

→コミュニティハウスなら自分が調整できる。(C委員)

・市内で本鵜沼市民の家が、直近に建て替えられた市民の家と聞いた。建て替えた際の近隣住民とのやり取りや図面などが役に立つのではないか。(E委員)

→本鵜沼は現地での大規模修繕という方式で検討委員会などは立ち上げていないため、住民とのやり取りの記録はない。他の市民の家と比較することは有効だと思われる。石川コミュニティセンターという市民センターの分館機能と市民の家の複合施設があるので、本鵜沼と石川コミュニティセンターの図面を参考に用意する。(事務局)

→それなら、辻堂砂山市民の家がいいと思う。以前視察に行ってきたが、1階が児童館と児童クラブで2階が市民の家となっている複合施設である。あとは、労働会館とかも参考になるのではないか。(F委員)

→この検討会議は、図面やレイアウトを考えるものではないので、あくまで参考として本鵜沼と石川コミュニティセンターと辻堂砂山の平面図をお渡しする。(事務局)

・事前に配布される資料は、各自次回の会議前までに目を通してきてほしい。(委員長)

・前回、議題に出てきた片瀬公民館まつりで自主的に行ったアンケート結果などは見せてもらうことできないか。(D議員)

→次回会議時に配布する。(F委員)

## (2) 事務局からの案内

- ・市主催のワークショップを開催する予定。そこで出てきたアイディアは、検討会議に提供する。(事務局)

→片瀬中学校の生徒やその保護者の意見を聞いてみたい。(F委員)

→ワークショップやアンケートで意見を聞く機会を今後検討したい。(委員長)

- ・次回の検討会議から、開催通知に同封した資料を会議当日に持参していただきたい。(事務局)

## (3) その他

- ・新しい片瀬山のコミュニティ施設は、片瀬山活性化の中心と位置付けることのできるような施設になって欲しい。今年度末で片瀬山自治会連絡会の会長を退任するので、この会議に出席できるのは今日が最後になるかもしれない。後任は、新しい片瀬山自治会連絡会の会長を予定している。(C委員)

→新しい会長と一緒にC委員も引き続きこの会議に出席されてはどうか。(G委員)

→片瀬山自治会連絡会の推薦枠として出席していただいているので、引き続き同じ委員に出席いただくのは構わないが、人数を増やすことは想定していない。自治連の中で検討していただきたい。(事務局)

→ルールのない中でいたずらに人数を増やすことは好ましくない(H委員)

→できれば最初から検討に加わってもらっている人のほうがよいと思う。(G委員)

→委員数を増やせないのであれば、来年度に自治連から誰が出るのか、まずは内部で相談してみる。(C委員)